

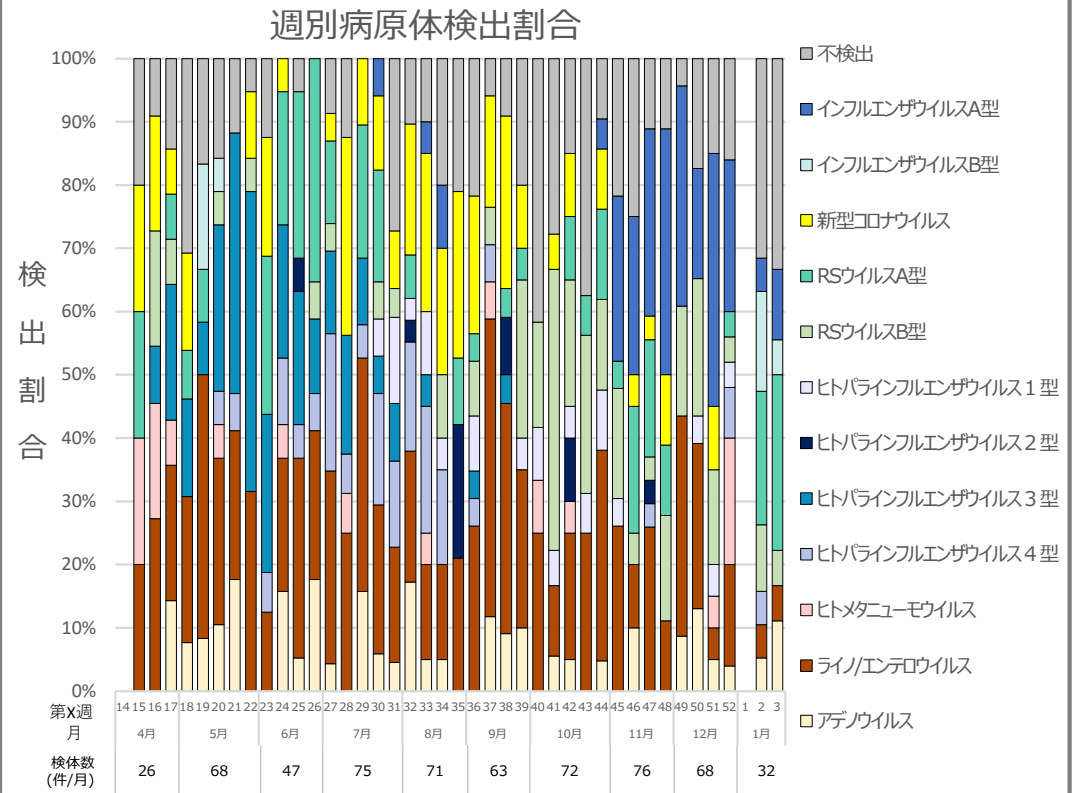
令和7年度の感染症発生動向等について

01. 奈良県の感染症トピックス

時期/名称	概況
R7.4月～10月 百日咳	✓ 4月頃から患者が増え始め、「全数把握」として統計を取り始めた2018年以降で過去最多となる、2025年の年間累計337人(例年0～十数件程度)。5～14歳が約5割程度を占める。
R7.6月～10月 伝染性紅斑	✓ 第23週(6月2日～8日)に、定点あたり報告数が警報レベル開始基準値「2」となった。「2」以上となるのは2001年以来であり、第43週(10月20日～10月26日)に終息基準値「1」を下回った。
R7.9月～ インフルエンザ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 今シーズン初の集団発生事例は、9月11日に発生。 ✓ 例年より1か月以上早く、第40週(9月29日～10月5日)に流行期入り目安「1」、第44週(10月27日～11月2日)に注意報レベル基準値「10」、第46週(11月10日～11月16日)に警報レベル開始基準値「30」を超えた。 ✓ 1月上旬には一時減少傾向にあったものの再び増加しており、第7週(2月9日～2月15日)現在も48.10と、終息基準値「10」を下回らず、警報発令中。
R8.2月 麻しん	✓ 令和8年2月9日に麻しん患者が発生し、約300人を超える接触者がおり、健康観察を実施した。

02. ARI病原体検出情報

2025年4月7日から、ARIが感染症法上の5類感染症の定点把握対象疾患に位置づけられ、ARIサーベイランスが開始。従来までの疾患別のサーベイランスとは異なり、症例定義※に一致する患者数の発生を把握する症候群サーベイランス。(※咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例)



03. 予防接種

2025年4月～

帯状疱疹ワクチンの定期接種開始

2026年4月～

妊婦へのRSVワクチンの定期接種開始予定